



「JSRグループ CSR Report 2013」

第三者検証 意見書

2013年7月18日

JSR 株式会社

取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

高瀬 純治



■ 報告書検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR Report 2013」の冊子版及びWeb版(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、化学業界の専門家であるレスポンシブル・ケア検証センターが意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
- 4) 報告書の特徴

■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・四日市工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。四日市工場での調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
 - ・数値の算出・集計方法は、本社及び四日市工場において、合理的な方法を採用しています。
 - ・調査した範囲に於いて、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
 - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性、文章の分かり易さ或いは冊子とWebの整合性に関し若干問題があることを指摘しましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
 - ・環境パフォーマンス・データの対象会社範囲を拡充し、今年度は新たに国内グループ企業14社の5年分の推移データに加え、海外のグループ企業9社のデータも集計・開示していることを特に評価します。
 - ・人々の暮らしや他の産業におけるCO₂排出量の削減に貢献する新規製品の開発に注力されていることを評価します。なお、これらの貢献量について、本CSRレポートにおいて、より積極的に分かり易く開示されることが望まれます。
 - ・化学業界では先駆的な生物多様性に配慮した取り組みとして、JSR各事業所の緑地の生物多様性の評価および改善等に取り組まれていることを高く評価します。
 - ・JSRの主力工場である四日市工場はコンビナートの一角にありますが、地域住民と隣接した立地でもあり、グループ企業を含む各プラントの排ガス類をメインボイラーや蓄熱燃焼設備で燃焼処理し、またグランドフレアを設置するなど臭気、騒音対策に万全を期し、2009年度から環境苦情件数ゼロを継続していることを高く評価します。
- 4) 報告書の特徴
 - ・本レポートは読者のニーズに合わせて提供するため、JSRグループのCSRの取り組みを網羅的に報告しているWeb版と要点をまとめた冊子版とで構成されています。
 - ・「JSRグループのCSRを革新し続けるために必要なこと」をテーマに外部の有識者とJSRの幹部の対談内容が載せられていますが、各ステークホルダーにとってもJSRへの理解をより深めることができる良い企画であると高く評価します。

以上